
【主人公】

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【主人公】

【Nコード】

N1535U

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

主人公に伝えられた話

僕は二十歳^{はたち}になった。

食卓にはケーキが置かれ父と母は1人息子の誕生日を祝った。

つまり僕のハッピーバースデーを祝った。

「実は、まだ、あなたに話してない事があるの…」と、僕に向かって母が言うと、それと同時に父の顔が少しだけ険しくなった。

「なに？イヤなこと？」

僕の問い掛けに父が答えた。

「実はオマエは世界の主人公なんだ」

僕は全く意味が分からず、何度も詳しく説明を聞き返した。

そして、何度もシツコク聞くうちに、なんとなく分かった事は、つまり、こういうものだった…。

世界なんてものは存在していないらしい。

全ては僕の産まれた日に作られたものらしい。

西暦2センナン年というのも僕のために作られた記号の様なものであり、そもそも、初めは何もなく、テレビも僕が付けた時だけ、僕の為だけにタレントが喋り出し、本や雑誌も僕が見る様なもの以外白紙だというのだ。

…ハハハ…そんなバカな…いったい…誰がなんの為に…と、笑い飛ばしたい気持ちはあったが、どうやら、ソレ等はホントらしい…。

…ピ…ピ…ピ…ピ。

―いくらチャンネルを代えてみてもそこには砂嵐しか映っていないかった…。

ガサ…ガサ…と、普段見る事の無い父の新聞を開くとそこには何も書かれていなかった…。

それから、最後はとってもイヤな気分になり沢山泣いてしまった…。

イヤな気分は時間が経つに連れ増していった…。

悲しかった…。

(END)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1535u/>

【主人公】

2011年10月9日04時44分発行